



ふ れ あ い
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

来年、2020年は
東京オリンピックの年です

平和や希望の象徴とされているオリンピック聖火は、ギリシャで古代オリンピアの太陽光から採光され、オリンピック開催国において、聖火ランナーがリレーによりつなぎ、聖火台に点火され、オリンピックが開幕します。来年の東京2020オリンピック競技大会では、7月24日の開幕に向けて、3月26日に福島県をスタートし、兵庫県を經由した後、東京都に入ってオリンピック会場に向かい、開会式において、その聖火は聖火台に灯されます。

兵庫県では、5月24日と25日の2日間、14市町を聖火ランナーがリレーでつないでいきます。その中で5月25日には、南あわじ市の慶野松原周辺を聖火ランナーが通過することが決定しています。国生みの島・淡路島を代表し、この聖火リレーが参加者の一生の思い出となるとともに、テレビなどで見られる方にも印象に残る聖火リレーとなるよう、そして、慶野松原の一層の発展につながるものとなるよう努めたいと思っています。

現在、市民からのアイデアも取り入れながら、子どもか



聖火ランナーが通過する慶野松原

ら大人、シニアの皆さままで、みんなで声援を送り、楽しめるイベントとすべく、準備を進めているところです。5月25日は月曜日なので、子どもたちは学校、一般企業においても勤務日であるところが多いと思います。しかしながら、多くの方にとって一生に一度の機会でもあり、ご都合をつけていただき、できるだけ多くの市民の方々に沿道に出て応援していただきたいと考えています。

今年の5月29日は市民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に初参戦し、大方の予想を覆し、市民の皆さまの総力で対戦相手の鳴門市に快勝したことが記憶に新しいところです。その南あわじの住民パワーで、聖火リレーも他に負けない盛り上がりを実現できたらと願っております。

なお、チャレンジデーについては、市民の皆さまからは「来年も引き続き挑戦して勝利したい」と、うれしく頼もしいお声をたくさんいただいているところですが、時期が非常に近接しています（予定では聖火リレーの2日後）。今回は、聖火リレーにご注力いただくことを期して、チャレンジデーへの参加は見合わせることにいたします。

市民の皆さまには、今からお誘い合わせの上、聖火リレーおよび関連イベントへの参加の輪を広げていただけることを心よりお願い申し上げます。

学園祭「第4回くにうみ祭」

11月16日(土)午前10時～午後4時
吉備国際大学南あわじ志知キャンパス
【イベント】

玉ねぎ早食い競争、宝探し、ビンゴ大会、トリックアート、三原志知小学校和太鼓「志童」、吹奏楽（淡路三原高、南淡中、広田中）など
同大事務室 ☎ 42-4700

「第4回くにうみ祭」の詳細は、右の2次元コードから、くにうみ祭Instagramをご覧ください。



狩猟動物慰霊祭の開催

日時 11月13日(水)午後4時～5時
場所 同大キャンパス内大講義室 (C棟3階)

吉備国際大学農学部では、北阿万地区や南あわじ市のご支援の下、学生部「チーム追山狩部」がイノシシやシカといった有害獣を捕獲、解体、精肉し利活用を行う研究活動に取り組んでいます。

狩猟期間が始まる前の11月13日に、野生鳥獣の慰霊と活動内容を紹介する「動物慰霊祭」を開催します。

慰霊祭終了後に、有害獣の利活用の例として、実際にチーム追山狩部で捕獲したジビエを使った料理の試食も予定していますので、ぜひお越しください。

受賞おめでとう

(敬称略・順不同)

全国少年補導功労者栄誉銀賞表彰

谷池 弘士 (津井)

全国防犯功労者表彰栄誉金賞表彰

森 丞 (福良)

全国防犯功労者表彰栄誉銅賞表彰

溝口 薫 (福良) 古池 武郎 (福良)

近畿防犯功労者表彰

橋詰 久 (福良)

兵庫県防犯功労者表彰

藤岡 勝平 (灘) 佐野 伸典 (松帆)

南あわじ防犯協会表彰

湊防犯協会 道上 八千子 (八木)

赤松 慶久 (八木) 柳本 佳博 (松帆)

居内 和廣 (松帆)

南あわじ市民の警察官「ゆづるは賞」表彰

廣居 均哉 (刑事生活安全課)

戸田 寿幸 (地域課)



高齡者叙勲
旭日単光章
油本 博さん(松帆)



油本さんは、昭和56年7月、地域住民から推されて西淡町議会議員に当選し、平成13年7月までの5期20年の長きにわたりに在職されました。西淡町議会議長をはじめ、産業建設常任委員長、議会運営委員長等を歴任し、旧西淡町の生活基盤の充実や観光業の振興など、町政発展に貢献されました。

特に、ショッピングセンター・シーパの建設や三原郡4町合併に尽力されました。



協定を締結した(左から)久元喜造神戸市長、門康彦淡路市長、守本市市長、竹内通弘洲本市市長

南あわじ市、洲本市、淡路市の3市は10月2日、神戸市と「連携・協力に関する協定」を締結しました。観光や農水産物など、それぞれの魅力を生かして交流人口の拡大や地域のPRを図ります。

南あわじ市と神戸市は今後の連携事業として「農業女子」の交流や淡路人形浄瑠璃の神戸公演などを計画。淡路島と神戸市間を通学する学生の災害時の安全確保についても検討を行います。同日に洲本市で締結式があり、4市長が協定書に署名。守本市長は「神戸市は情報発信力が強い。連携による圏域全体の地域経済の活性化に期待したい」と話しました。

淡路3市と神戸市が協定
圏域の地域活性化をめざす